

橋をつくる！「橋桁編(はしげたへん)」～倉敷立体の現場紹介～

2017.10.04



こちらは、おかこくが実施中の「倉敷立体」工事現場です。

いつも渋滞が発生している「高梁川大橋」とその前後の区間を4車線化して、通行できる車を増やして渋滞を減らすための工事です。

現在、新しく橋を架けるための部品を製作していますが、今回はコンクリートを使って橋桁（はしげた）を作る現場を訪ねました。



この工場で、橋を作る部品が作られています。



中に入っている鉄筋が正しく作られているか、ミリ単位で細かくチェックします。

コンクリートは外から押さえる力に対しては強く耐えられますが、外から引っ張る力に弱いモノ。この弱点を克服するために生まれたのが「**プレストレストコンクリート (PC)**」です。この強いコンクリートで通行量の多い道路を支える桁（けた）を作っています。



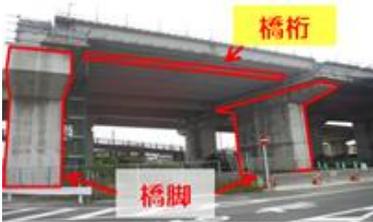
コンクリートを打った橋桁（はしげた）です。最後の仕上げは手作業でいねいに。

桁（けた）を設置する作業は9月中旬に行われ、工場では一日2本ずつ作られたコンクリートは、工事を行う夜に大きなトラックで工事現場に運ばれました。20mもあるコンクリートの固まりは、長いトラックで運ばれます。「大きな車両で運ぶため、夜でないと道路を走れないんです。」と現場の安田さん。



ひとつの桁（けた）の長さはおよそ20m！

こうして運ばれたコンクリートは、橋桁（はしげた）として設置されました。そして「道路」として活躍する日を待っています。



※橋桁（はしげた）・・・橋脚の間にかけて、道路の路面を支えるもの。

※橋脚（きょうきやく）・・・橋を支える脚（あし）。

※プレストレストコンクリート（PC）・・・引っ張る力に強くなるよう、鉄線を埋め込んであらかじめ強く縮めておいたコンクリート。